

平成26年度指定管理者モニタリングシート

1 施設等の概要				
施設名	南部地域センター		所管課	市民部生活文化課（内線2432）
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ		指定管理者所在地	東京都豊島区東池袋1丁目44-3 ISPタマビル7階
指定期間	平成23年4月1日～28年3月31日	利用料金制の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	他自治体での指定管理者実績 小平市花小金井南児童館 葛飾区葛飾勤労福祉会館 ほか多数
施設の設置目的	市民文化の向上を図るとともに、コミュニティ活動を増進するための施設			
事業概要 (サービスの概要、自主事業等)	施設の維持管理運営（貸出業務等） ひばりエコクラブ、ひばりエコール、南部横丁朝市、いきいき安心塾おしゃべり会、ニットカフェ、うたごえ喫茶、地域センターまつり 他			

2 モニタリング評価				
評価項目	評価の視点			評価
公平な使用の確保	＜公平性の確保＞使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか			5 4 3 2 1
市民サービスの向上	＜事業等運営＞新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか			5 4 3 2 1
	＜施設維持管理＞設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか			5 4 3 2 1
	＜情報管理＞個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか			5 4 3 2 1
	＜危機管理＞事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか			5 4 3 2 1
	＜市民協働＞地域住民と一体化した取り組みがなされているか			5 4 3 2 1
	＜ノーマライゼーション＞障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか			5 4 3 2 1
経費の節減など効率的な運営	＜コストパフォーマンス＞サービス水準を維持しつつ、利用者に適正な運営をしているか			5 4 3 2 1
	＜収支の改善＞利用者の増加を図る等、収支状況の改善に向けた取り組みをしているか			5 4 3 2 1
	＜経済・効率性＞経費節減のための工夫など、効率的な運営の仕組みが確立されているか			5 4 3 2 1
	＜経費の妥当性＞管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか			5 4 3 2 1
	＜再委託業務＞再委託されている業務の範囲は適切か			5 4 3 2 1
	＜環境対策＞市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか			5 4 3 2 1
安定的な施設サービスの継続的な提供	＜サービスの信頼度＞施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか			5 4 3 2 1
	＜職員の専門性、配置体制＞施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか			5 4 3 2 1
	＜研修体制＞職員の指導育成、研修体制は適正であるか			5 4 3 2 1
	＜労働条件＞職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か			5 4 3 2 1
	＜経営基盤＞指定管理者(母団体)は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか			5 4 3 2 1
施設の特長によるサービス提供	＜施設の特長＞施設の設置目的の達成等、その施設ならではの特色を活かした運営がなされているか			5 4 3 2 1
合計点数				64点/100点

3 決算額及び利用状況											
市決算額	23年度	24年度	25年度	指定管理料 対前年度増減		今期指定管理者選定 前3ヶ年の 平均決算額	利用人数(件)数			利用人数(件)数 対前年度比増減	
				25年度-24年度	24年度-23年度		23年度	24年度	25年度	25年度/24年度	24年度/23年度
指定管理料	33,515,281	43,400,000	37,850,000			89,531,948					
使用料	1,909,025	1,964,650	2,147,550	-5,550,000	9,884,719		3,124	3,394	3,547	104.5%	108.6%
成果配分金											

※指定管理料欄及び3ヶ年の平均決算額欄:指定管理者制度導入1期目の施設については直営時3ヶ年の決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

4 現状と課題及び次年度以降に向けた方向性	
* 2の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。	
<p>・地域住民との交流が継続して活発に行われている。地域包括支援センターとの連携や、住民の高齢化に伴う孤立を防止するための地域見守り等の取組も前年度から引き続き行われており、地域懇談会は住民との交流を行う場として有効的に機能している。また、3年連続で開催されている向山・立野川から始める地域学では、共催の自由学園・向山立野川緑地勉強会と連携し地域の魅力を住民に伝えるよい機会となっている。</p> <p>URと「団地情報連絡会」を定期的に行っており、地域住民のニーズに答え暮らしやすい街づくりを目指すための意見交換が積極的に行なわれてきた。</p> <p>・南部地域センターについて、重大な問題は発生していないが、館内設備に軽微な破損・故障が発生しており、今後計画的に修繕を行っていく必要がある。</p>	
※3決算額及び利用状況の平成25年度分指定管理料については、施設毎の指定管理料の配分を再精査した結果である。	
※3決算額及び利用状況の利用人数(件)数について、これまでの人数表記から件数表記に変更している。	

5 総合評価									
公平な使用の確保		市民サービスの向上		経費節減など効率的な運営		安定的な施設サービスの継続的な提供		施設の特長によるサービス提供	
・公平性の確保	C	・サービスの維持向上 ・施設の維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・利用者の評価 など	A	・効率的な運営(経費節減)など	B	・業務体制(職員配置・研修等) ・指定管理者の安定性など	C	・公の施設の設置目的の達成など	B
									A期待大きく上回る B期待以上 C期待通り D期待やや下回る E期待下回る

記入日 平成27年2月3日

6 二次評価	
南部地域センターの地域特性を生かした事業を展開し、地域との連携をはかり、地域の福祉に貢献している点は大変評価できる。課題として、今後、施設の老朽化に伴い修繕が増えることが想定されるので、事業に支障が出ないよう的確に対応していただきたい。	評価 B